

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)141号	
事業毎の通番		12	市町村名	南牧村	箇所名(ふりがな)	海尻(うみじり)
事業概要	事業目的	本路線は佐久地域と山梨県を結ぶ唯一の幹線道路として地域間の物流を担っており、大型車交通量が非常に多い状況にある。一方で、道路幅員は旧規格のため、大型車両のすれ違いが困難な状況であり、交通事故が多発している。また、歩道の未整備区間となっており、歩行者の通行に支障を来している。このため、当該区間の拡幅改良とともに歩道設置を行い、交通環境の改善、安全な歩行者空間の確保を図るものである。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法		
	関連する事業、計画等	広域道路網マスタープラン				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 8,000台/日				
	着手年度	平成27年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	1.6	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=540m W= 6.5 (11.0)m			1,000,000	600,000 360,000 40,000
	年度事業内容(主な工種)					
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 14億円 大型自動車事故防止 H23:2件発生			
		間接的効果(定量的・定性的)	物流の効率化			
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : なし ○交通結節点アクセス : 海尻駅1次アクセス ○観光地アクセス : 野辺山高原、清里高原へのアクセス道路 ○地域の活性化 : 観光ネットワーク、農産物(高原野菜等)の流通拠点アクセス			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 広域道路網マスタープラン ○緊急輸送路の路線指定 : 県緊急輸送路(1次) ○地域指定 : 振興山村地域			評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.6 ○事業期間 : 6年(H27~H32) ○代替案の検討 : PIIによるルート検討を実施 ○他事業との連携 : なし			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H23 2件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : JR小海線跨線橋前後の混雑緩和 ○歩道整備 : 部分的に設置されている歩道の整備 ○道路構造 : 現況幅員5.0m			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H14~P1事業説明会を開催) ○地域の取り組み : 協力的である ○地域の合意形成 : 合意形成は図られていない ○住民との協働 : 住民関与は低い			評価	C
	部意見	事業の必要性、効率性は高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。	評価結果	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

事業概要説明図表

交通安全対策事業実施区間
歩道設置 L=490m W=2.50m (H19~)

南牧村海ノ口(役場) 交通量 7,966台/日

H14~ P Iにて、約1.0km間のルート検討

交通事故発生状況

至 山梨県

至 山梨県

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は佐久地域と山梨県を結ぶ唯一の幹線道路として地域間の物流を担っており、大型車交通量が非常に多い状況にある。一方で、道路幅員は旧規格のため、大型車両のすれ違いが困難な状況であり、交通事故が多発している。また、歩道の未整備区間となっており、歩行者の通行に支障を来している。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該箇所は部分的に幅員が狭く、一部大型車同士のすれ違いが困難な箇所が存在し、事故多発区間でもある。このため、毎年南牧村から拡幅改良の要望がある。また、平成14年度にPIIによる道路改良計画の検討を実施しており、隣接区間では交通安全事業により歩道設置を進めている。
③事業説明等の経緯	本事業区間、及び現在事業中の交通安全事業実施区間について、H14にPIIによるルート検討がされた経過がある。終点側490m間の交通安全(歩道設置)事業はH27完了の予定であり、本事業区間についても、南牧村役場からは早期の事業化が求められている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県地域防災計画(第1次 緊急輸送路)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	沿道には住宅が立ち並んでおり、歩車道分離等を進めることにより、沿道の安全・住環境に配慮した計画を進めた。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、高原野菜等農産物の物流拠点アクセス向上に寄与するものと期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 02' 16" 東経:E 138° 28' 33"